



2025年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社BeeX

上場取引所 東

コード番号 4270 URL <https://www.beex-inc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広木 太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 杉山 裕二 TEL 03-6260-6240

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	6,804	21.0	553	14.9	561	14.0	384	13.3
2024年2月期第3四半期	5,624	36.1	481	60.6	492	66.0	338	66.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	172.85	153.88
2024年2月期第3四半期	152.54	135.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,627	2,473	53.5
2024年2月期	4,281	2,089	48.8

(参考)自己資本 2025年2月期第3四半期 2,473百万円 2024年2月期 2,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2025年2月期		0.00			
2025年2月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,470	23.0	650	8.5	648	5.3	468	6.2	210.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期3Q	2,224,600 株	2024年2月期	2,224,600 株
期末自己株式数	2025年2月期3Q	3,000 株	2024年2月期	3,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期3Q	2,221,600 株	2024年2月期3Q	2,221,600 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(四半期貸借対照表に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、物価高騰に伴い個人消費や設備投資等の内需減少が見られたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善の動きもみられ、また、訪日外国人観光客数の増加によるインバウンド需要の拡大などを背景にした人流増加により、緩やかな景気の回復の動きが見られました。しかし、中東情勢の緊迫化等の地政学リスクの高まりや海外経済の減速懸念のほか、為替変動による物価上昇、円安の継続や世界的な金融の引き締めなど、国内の景気を下押しするリスクもあることから、依然として先行きが不透明な状況となっております。

情報サービス産業においては、既存システムの刷新等のIT投資需要は高まっており、企業収益の改善や人手不足等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されております。また、クラウド型サービスへの移行ニーズを背景に、様々な情報サービスに対する期待が益々高まっており、事業の強化や変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要は増加しております。

このような状況下、当社では「デジタルトランスフォーメーション」及び「マルチクラウド」という2つの領域を軸にクラウドソリューション事業を展開しており、SAP社が提供する基幹システムを中心に、顧客企業毎に使用している基幹システムに最適なパブリッククラウドの選定、基幹システムをパブリッククラウド上で最適な状態で利用するためのコンサルティング、クラウド環境の設計・構築、クラウド環境への移行、及びクラウド環境での運用業務の提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高6,804,131千円(前年同四半期比21.0%増)、営業利益553,702千円(前年同四半期比14.9%増)、経常利益561,841千円(前年同四半期比14.0%増)、四半期純利益384,005千円(前年同四半期比13.3%増)となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績の詳細は次のとおりであります。

なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(売上高)

当第3四半期累計期間におけるクラウドインテグレーションにおいては、前期に獲得した大型案件の後続フェーズに係る売上が寄与し、加えて、官公庁の大型案件の売上、並びに既存顧客からの追加案件の受注及び新規顧客からの案件獲得もあり、クラウドインテグレーション売上高は2,183,004千円(前年同期比25.7%増)となりました。

MSPにおいては、新規顧客の獲得もあって取引社数が堅調に推移し、MSP売上高は671,875千円(前年同期比20.0%増)となりました。

クラウドライセンスリセールにおいては、新規契約数が順調に増加したことに加えて円安基調も追い風となり、クラウドライセンスリセール売上高は3,949,251千円(前年同期比18.7%増)となりました。

(売上原価)

当第3四半期累計期間における売上原価は、5,485,155千円(前年同四半期比22.3%増)となりました。

主な内容としては、クラウドインテグレーションにおけるプロジェクトの大型化に伴い、社内リソースでカバーできない工数を外部の開発リソースで補完したことにより業務委託費が増加し、クラウドライセンスリセール売上増加に伴うAWS及びAzure等のライセンスの仕入高が増加しました。また、エンジニアの採用が順調に進捗したこともあり労務費が増加しました。

(販売費及び一般管理費)

当第3四半期累計期間における販売費及び一般管理費は、765,273千円(前年同四半期比16.6%増)となりました。

主な内容としては、人的資本への投資を進めた結果、営業部門及び管理部門の増員に伴う人件費が増加しました。

(営業外損益)

当第3四半期累計期間における営業外収益は9,002千円(前年同四半期比20.5%減)となりました。これは主に、助成金収入があった一方で、受取手数料収入が減少したことによるものであります。また、営業外費用は、863千円(前期比56.8%増)となりました。これは主に、支払利息及び為替差損が増加したことによるものであります。

(特別損益)

当第3四半期累計期間における特別利益及び特別損失の計上はありませんでした。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、4,627,279千円となり、前事業年度末から345,525千円の増加となりました。

当第3四半期会計期間末における流動資産は、4,329,137千円となり、前事業年度末から342,409千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が321,366千円減少した一方、売上の増加により売掛金が589,862千円、契約資産が45,546千円、AWSのリザーブドインスタンス（契約期間1年間、3年間）及びSavings Plans（契約期間1年間）の購入に伴い前払費用が55,206千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における固定資産は、298,142千円となり、前事業年度末から3,115千円の増加となりました。これは主に、自社開発のクラウド運用サービスツール「BSC: BeeX Service Console」（ソフトウェア）の追加機能開発等により無形固定資産が5,724千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,153,401千円となり、前事業年度末から38,479千円の減少となりました。

当第3四半期会計期間末における流動負債は、2,153,401千円となり、前事業年度末から38,479千円の減少となりました。これは主に、ライセンス仕入高が増加したこと等により買掛金が152,871千円増加した一方で、クラウドライセンスリセール売上に対する契約負債が144,940千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、2,473,878千円となり、前事業年度末から384,005千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が384,005千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績が概ね想定どおり推移しているため、2024年4月12日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870,032	1,548,665
売掛金	1,098,508	1,688,371
契約資産	281,641	327,188
前払費用	704,038	759,244
その他	32,505	5,667
流動資産合計	3,986,727	4,329,137
固定資産		
有形固定資産	52,281	50,422
無形固定資産	115,119	120,844
投資その他の資産	127,625	126,875
固定資産合計	295,026	298,142
資産合計	4,281,754	4,627,279
負債の部		
流動負債		
買掛金	927,746	1,080,618
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	118,057	103,620
契約負債	651,868	506,927
賞与引当金	-	59,376
受注損失引当金	211	-
その他	293,996	202,858
流動負債合計	2,191,881	2,153,401
負債合計	2,191,881	2,153,401
純資産の部		
株主資本		
資本金	321,089	321,089
資本剰余金	386,213	386,213
利益剰余金	1,385,208	1,769,214
自己株式	△2,638	△2,638
株主資本合計	2,089,872	2,473,878
純資産合計	2,089,872	2,473,878
負債純資産合計	4,281,754	4,627,279

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	5,624,212	6,804,131
売上原価	4,485,727	5,485,155
売上総利益	1,138,485	1,318,976
販売費及び一般管理費	656,537	765,273
営業利益	481,948	553,702
営業外収益		
受取利息	6	163
受取手数料	11,163	5,290
助成金収入	-	3,548
その他	150	-
営業外収益合計	11,320	9,002
営業外費用		
支払利息	473	725
為替差損	77	138
営業外費用合計	550	863
経常利益	492,718	561,841
税引前四半期純利益	492,718	561,841
法人税等	153,835	177,835
四半期純利益	338,882	384,005

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2023年3月1日 至2023年11月30日)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自2024年3月1日 至2024年11月30日)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	41,552千円	42,986千円

(四半期貸借対照表に関する注記)

※ 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当座貸越契約に係る借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
当座貸越極度額	600,000千円	600,000千円
借入実行残高	200,000千円	200,000千円
差引額	400,000千円	400,000千円